

学校だより



横浜市立浦島丘中学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/urashimaoka/> ☎045-421-6281

つながり

副校長 合澤 依希子

初夏の日差しに青葉輝く季節となりました。新しい年度がはじまり、まもなく二か月が経とうとしています。部活動では一年生が本入部し、先輩から色々なことを教わりながら頑張っている様子がみられます。

さて5月は、三年生が栃木県の大田原市へ修学旅行に、一年生は金沢区にある海の公園へ遠足に行きました。修学旅行での貴重な農村体験やそこに住む方たちとの交流は、自分の考え方や生き方について考えるよい機会になったことと思います。また一年生の遠足は、当日の活動はもちろん、行くことができなかった人たちにも楽しんでもらえるようにと、解団式では、クラスや個人に対しユニークな表彰状を授与したり、先生方へのインタビューを企画したりして、とても工夫されていました。二年生は明日、鎌倉遠足へ出かけます。皆さんが笑顔で一日を過ごすことができるよう願っています。

修学旅行や遠足に出かけるにあたり、それぞれの学年に対し他学年から「楽しんでください」など、心のこもったメッセージが送られました。各教室に掲示されたそれらのメッセージは、これまでコロナ禍の影響で、学校行事も制限された状況を経験してきた生徒たちだからこそ伝えることができるメッセージを感じました。生徒たちは「できることが当たり前ではない」ことに気づき、今、みんなと一緒に活動できる環境に感謝し、その時間をみんなで大切に過ごし、そして充実したものにしていこうと、全校生徒が学年を超えてつながり、同じ思いとして伝えてくれているように感じました。

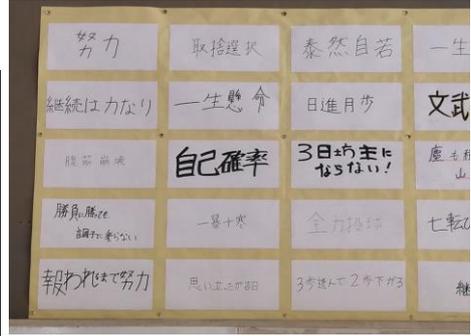
集団での体験的な活動は、多様な他者と協働する力や、自分のよさを認識して頑張ろうとする力（自己実現）などの育成につながります。また自分たちで行事を創り上げる経験は、責任感や主体性が育まれます。もちろん日常の積み重ねが大切なのは言うまでもありませんが、その日頃の様々な活動がつながって発展したものが行事なのだと思えます。学校行事だけ楽しんだり上手くやったりすることは到底無理なことです。是非、今回の経験を次へつなげてくれることを期待しています。

今年度、副校長として着任いたしました合澤依希子です。浦島丘のよき伝統をしっかり繋げていけるよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



立志式 4月14日：3年生 21日：1・2年生

紙に書き上げた今年の目標を、一人ひとりがクラスの仲間と保護者の前で、披露する立志式を、今年度は授業参観で行いました。自分をしっかりと見つめ、前向きに取り組んでいきたいという気持ちがとてもよく伝わってきました。また、多くの人の前で自分の考えを発表した経験は、大きな成長となったと思います。立志式での目標を実現できることを楽しみにしています。



学校説明会実施 4月21日

教科学習、評価評定、学校生活などの説明を行いました。詳細の資料はマメールで配信していますので、ご確認ください。

「サヘル」資源回収委託式 4月26日



(福祉委員による委託式)

特定非営利活動法人サヘルの森 運営委員 榎本肇さんをお招きし、昨年度に資源回収をした牛乳パック200kg(3080円)とアルミ缶130kg(10010円)をお金に換えて合計13090円を寄付しました。この寄付金は、砂漠化しているマリ共和国の里山を育てる「サヘル」事業に役立っています。榎本さんには、マリ共和国の実情、荒廃した土地を再生するために、「木を育てるとともに、人を育てる」大切さなど、私たちの知らないことをたくさん講演してもらいました。浦中ではこの事業が始まった翌年の1989年から地域と共に資源回収金をサヘルへ35年間も委託しています。まさに今、世界で注目されているSDGsの先駆けを行っています。いい伝統が継承され続けていることはとても誇らしいです。今年は福祉委員会を中心に、「小さな力が砂漠を森に」活かされるように資源回収活動をさらに進めていくことを期待しています。

修学旅行 5月10～12日

絶好な天候の中、栃木県大田原市で修学旅行を実施しました。横浜では味わうことのできない、大自然に囲まれた生活の中で、時を忘れてゆっくりと過ごすことができた3日間でした。特に2日目の夜空に浮かぶ星がとても美しく、のどかな場所にきたなと思える瞬間でした。



(3日目 全員で田植え)

今回の修学旅行のスローガンは「思い出×黄学年～Let's enjoy 大田原～」でした。修学旅行実行委員会を中心に、3年生一人ひとりが仲間と過ごす瞬間を大切に、一生の思い出に残る修学旅行にしていこうという姿を見ることができました。普段学校では見ることのできない、新たな自分、新たな友達の良いところを発見できたと思います。